

通貨選択・時間軸選択

「どの通貨を選んだらいいのか？
時間軸はどれがいいのか？」

と悩むことがあるかもしれませんが
選択に正解はなく、人それぞれです。

自分に合ったものを探せばいいだけです。

5分足だから値幅をたくさん取れる、
4時間足だからあまり取れない、
ということもありません。

同じ時間足を選んでも取れる人と
取れない人が出てきたりします。

同じことをしても人それぞれ
結果が変わります。

だから仮説を立てて検証することが
すごく大切になってくるんですね。

どういった仮説を立てて、どのように
検証したかで成績がガラリと変わります。

この時に細かな分析に偏らないように
していく必要があります。

分析自体はかなりシンプルなものでも使えます。

うまくいかないからと分析方法を増やしたり細かく分析してしまうと、その分チャートを難しく見てしまったりするので気を付けてください。

同じルールでも考え方ひとつで結果が全く違ったりします。

「上がるか？下がるか？」と考えるよりも
「1/2の確率でどちらかに動く」
と考えるだけでうまくいったりするのです。

あなたの目に何が映っているかが大事なんです。

「確実なものが欲しい、これからどう動くだろう？」
と考える人と
「確率で動く、今の行動だけに集中しよう」
と考える人では、

見ているものが全く違うと思ってください。

実際にチャートを分析する時は、
まずは水平ラインをしっかり見ていきます。

それから斜めのラインが使えるような時は
斜めのラインを使っていきます。

エントリーした後は上がるか下がるかの
どちらかに動くだけ。

上がるか下がるか、確率は1/2です。

実際に過去チャートで試してみてください。

このやり方が合わなかったとしても
根本的な考え方は同じだと思います。

過去チャートでのトレーニング（チャプター05）で
目安の成績を達成できたら次のステップに入ります。

リアルタイムのデモトレード（チャプター08）では
過去チャートでのトレーニング（チャプター05）で
やってきたことと全く同じことをやっていきます。

練習でやってきたことと全く同じことをやって
リアルデモトレードで利益を出していきます。

練習でやってないことをやってはダメです。

必ず、練習でやってきたことだけやるようにします。

実際の生活の中にトレードを組み込んだ時に
練習でやってきた方法で利益を出せるかが大事になってきます。

もし、うまくいかない時はやり方（ルール）を
変えるのではなく**通貨と時間軸を変更**します。

練習の時の通貨よりも見慣れた通貨の方がいい、
という場合は、その通貨に変えていきます。

好きな時間軸がある、という場合はそちらの
時間軸に変えていきます。

通貨はなるべくメジャーな通貨を選んだほうが急激な動きが少ないのでうまくいきやすいです。

- ・米ドル
- ・ユーロ
- ・ポンド
- ・円
- ・オーストラリアドル

これらの組み合わせ（ドルストレート・クロス円）はトレードしやすいと思います。

メジャーな通貨でもそれぞれ流れに特徴がありますが好きな通貨を選ぶといいです。

発展途上系の通貨を選ぶこともできますが操作しやすいなど、急激な変化が多いので確率論では攻略できない部分が多いと思います。

トレードの戦略として順張り、逆張り、ブレイクなどありますが、こういった戦略を取るかは人それぞれで見えるポイントが変わってくると思います。

見えるポイントが違うので、好きな通貨、嫌いな通貨なども出てくると思います。

トレードポイントについて（個人の視点）

実際にトレードする時にどこを見ているか？
ということなのですが、動きがいったん止まるポイントを見えています。

いったん止まるポイントから今までと同じ方向に動いていくのか、それとも反転していくのかを見ています。

いったん止まるポイントは一つの壁と見れるのでその壁を目安に、エントリーと反対に行けば損切、と決められます。

動きがいったん止まるポイントは

- ・ それまでとは違う色の足が出たとき
- ・ 長いヒゲが出たとき
- ・ 心理抵抗線（ダブルゼロ、トリプルゼロ、50など）

を目安にしています。

こういった場面で反発するのか？を一つの基準として持っておくといいです。

例えば

高値、安値を更新した時、どんな動きになりやすいかよく観察する、とかです。

そういった動きをよく観察して動きがいったん止まるポイント、反転しやすいポイントを見ていけば通貨と時間軸に対する感覚が身に付きます。

画面に出ている範囲だけでなく、ずっと過去のチャートまで見比べます。

すると、

「ここではいったん動きが止まりやすいな」
というポイントが見えてきます。

そういった点に注意することで
実際の生活でトレードする時に

「このポイントでは動きが止まりやすいから、
今日はここで決済しておくか」

という判断ができるようになります。

練習では保有し続けられたけど、実際の
生活に当てはめるとチャートが見れない時などは
そういった判断を入れてトレードをやめるルールを
入れていったりして使えるルールにしていきます。

どういったポイントで動きが止まりやすいか？
という傾向がつかめれば、どの時間軸でも
見方は同じなので、どの時間軸でもトレードできます。
(短い足になるほど瞬発的な判断力が求められます。)

そういった部分を考えながら
自分に合った通貨と時間軸を選んで下さい。

ラインだけでなく移動平均線やボリンジャーバンドを
分析に加える時は過去チャートで練習して、

- ・ どのような傾向があるか、
- ・ どのような方法で使えば利益が出るか
- ・ どの程度の利益が出るか

といったところまでしっかり確認して

リアルデモトレードに進んでいきます。

いきなり使ったことのない分析方法を入れて
トレードするとうまくいかないことが多いです。

損切が出たらダメ、という思考ではなく、
勝率が悪くてもドロダウンが小さく抑えられて
利益が出ればOK、と考えていきます。

決めたとおりに損切ができていればOK、
と考えていくということです。

動きがいったんとまる、というのはどういうことか？

例えば、5分足だけで動きが止まる部分だけを見ていると
わからないことがあります。

もっと大きな足、例えば30分足とか4時間足とか
日足を見るとそこで動きが止まる根拠が分かったりします。

そこで動きが止まるというのはどういうことか？
じっくり考えてみるのが大切です。

完璧を目指さずに、より良いものを作っている
過程にいると考えていきます。

全部をやろうとしなくても、
全部を知ろうとしなくても、結果は出ます。

あなたが今まで考えてきた、感じてきた思考を
これまでとは違った方向に向けることが
できているかに注目してみてください。

うまくいかない時は、細かい分析などを変えるのではなく、
見方を変えるだけでうまくいくヒントをもらえたりします。